

2024 年 9 月 27 日 「省エネ診断」に先立って、事前調査を行いました

本日は「省エネ診断にあたっての事前調査」を実施しました。ちなみに当社の設備における特徴は以下のとおりです。

（株）サニー・シーリングの工場と設備の特徴

当社では飲食料品及び工業製品のラベル印刷に加え、スマホ等のデジタル製品に貼り付けられる機能性フィルムの抜き加工や金属板等の精密スリット加工（航空機部品として納品しています）も行っています。

それら多くの作業が埃を嫌うビニールフィルム等に対する精緻な加工であり、クリーンルームで行う必要があるため、当社工場のうち6割程度はクラス100～10000（ISO14644-1規格：クラス5～7）の複数区画に分かれたクリーンルームとなっています。



精密加工用クリーンルームの様子

また当社設備の多くが、複数の作業を一貫して行う機能を持っており、非常に複雑な構造をしています。



フィルム積層設備



フィルム打ち抜き加工設備



画像位置補正機能付き打ち抜き加工設備

事前調査における主な確認項目は以下のとおりです。

事前調査における主な確認項目
① 空調機／メーカー、年式、設定温度、稼働時間（タイマー使用の有無も確認）、室外機の設置状況など
② 給排気フィルター／フィルターの汚れ具合、乾燥機フィルターが発する温度等も確認
③ クリーンルーム／クラスを確認
④ 湿度計／設置状況（各所に設置されている）、湿度確認

なお調査時には以下のような指摘がありました。

- ・ 製品への影響は全くないが、建物の構造上、ドアの隙間等から若干空気が漏れている所がある。さらに密閉度を上げれば、省エネにつながる可能性がある。
- ・ それぞれの区画の目的を明確にした上、それに応じた空調管理を行えば省エネにつながる。

下は事前調査時の様子です。



エアコン設置・稼働状況等を調査



フィルター・排気口を確認



各クリーンルームのクラス・管理状況を確認